

認知症になっても笑顔で過ごせるまち 角田市

保存版
第12号
平成30年
9月1日発行

認知症情報誌

みんな笑顔



事務局 角田市地域包括支援センター(ウエルパークかくだ内)
〒981-1505 宮城県角田市角田字柳町35-1 ☎ 0224-61-1288

認知症初期集中支援チームのお知らせ

角田市では、これまでも認知症に関する相談を受けてきましたが、さらに早期に支援できるよう、平成30年3月より市内全域を対象とした「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センターに設置しました。

【認知症初期集中支援チームとは?】

認知症の方やそのご家族に早期にかかわり、早期診断・早期対応できるよう支援を行います。

【対象となる人は?】

40歳以上の市民の方で、自宅で生活をしており、認知症が疑われる方や認知症でお困りの方です。ご本人やご家族と今後の対応を一緒に考えます。必要に応じて医療や介護サービスに関する助言を行います。

【チームのメンバーは?】

認知症サポート医、保健師、社会福祉士など

【認知症初期集中支援チームの動き】

まずは地域包括支援センターに相談を!

- ①保健師や社会福祉士が訪問し、困りごとや心配なことを確認します。
- ②かかりつけ医や認知症サポート医と連携しながらご本人やご家族に合わせてサポートします。

もしかして
認知症かな?

認知症の対応に
困っている。

認知症の治療を中断し
てよくなっていない。



認知症高齢者等見守りQRコード活用システムのお知らせ

高齢者等が外出して、地域の皆さんや警察などに保護された場合に、専用のQRコードシールを活用し、親族や支援者等に連絡できるシステムです。

申請・問い合わせ

角田市地域包括支援センターへ

その方の持ち物に
黄色いQRコードシールが
ついてるので携帯、
スマホで読み込んでね!

QRコードの使い方のわからない方は、
角田警察署の電話番号が書いてあるので連絡してね



QRコード
読み込み

角田市総合保健福祉センター ●阿武隈急行角田駅より
ウエルパークかくだ 車で2分 徒歩5分



認知症・介護についての相談は
角田市地域包括支援センターへ

☎ 0224-61-1288



『老化によるもの忘れ』と『認知症によるもの忘れ』の違い

老化によるもの忘れ

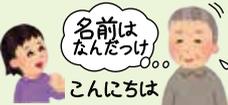
体験の**一部**を
忘れてしまう



もの忘れの
自覚がある



親しい人やよく行く
場所は**忘れない**



性格は**変わらない**



自分が今いる場所や
時間が**分かる**



認知症によるもの忘れ

体験の**すべて**を
忘れてしまう



もの忘れの
自覚がない



親しい人やよく行く
場所が**分からなくなる**



性格に**変化がある**



自分が今いる場所や時間が
分からなくなる



～早めに気づいて、早めに対応することが大切です～

心配な方はかかりつけ医や地域包括支援センターに相談してみましょう。

角田市内・近隣市町の認知症に関する検査ができる主な医療機関

まずは、かかりつけ医に相談しましょう。認知症に関する検査のできる医療機関や認知症疾患医療センターがあります。かかりつけ医の紹介状が必要なことがありますので、事前に連絡の上、受診しましょう。

所在地	医療機関名	住所	電話番号
角田市	仙南病院	角田市角田字牛館16	0224-63-2003
	金上病院	角田市角田字田町123	0224-63-1032
	名取医院	角田市角田字南61-1	0224-63-2347
大河原町	みやぎ県南中核病院	大河原町字西38-1	0224-51-5500
川崎町	川崎こころ病院 (もの忘れ外来)	川崎町大字川内字北川原72	0224-85-2333
柴田町	仙南中央病院	柴田町北船岡1丁目2-1	0224-54-1210
白石市	公立刈田総合病院	白石市福岡蔵本字下原沖36	0224-25-2145
	仙南サナトリウム (認知症疾患医療センター)	白石市大鷹沢三沢字中山74-10	0224-26-3101 (直通 0224-22-0266)
山元町	宮城病院	山元町高瀬字合戦原100	0223-37-1131
岩沼市	南浜中央病院 (認知症疾患医療センター)	岩沼市寺島字北新田111	0223-24-1861 (直通 0223-24-4101)
	総合南東北病院	岩沼市里の杜1-2-5	0223-23-3151

認知症サポーター養成講座の報告

開催日時	団体名	参加者	内 容
平成30年2月21日(水)	東根小学校	6年生 5名 保護者 5名 職員 1名	講話、寸劇、紙芝居
平成30年6月14日(木)	桜小学校	3年生 25名 職員 2名	講話、寸劇、紙芝居、グループワーク

小学校でのサポーター養成講座の様子



東根小学校



認知症が大変な病気だとわかりました。なぜなら、記憶も忘れて、迷子になってしまうのがわかりました。人助けをいっぱいして元気にしていきたいです。



ぼくも、キッズサポーターとしてみんなを支えていきたいし、患者さんが少しでも減って欲しいなと思いました。自分ができることは何か考え、行動に移し、明るく生活できるように少しでも努力し、人々を助けていきます。



桜小学校

現在の認知症サポーター数は、3,691人になりました。認知症サポーター養成講座の開催を受け付けています。地区、団体、小中学校、PTA、会社の研修会などお気軽に申し込んでください。オレンジリング、角田市オリジナルステッカーを配布しています。

申込みは角田市地域包括支援センター ☎ 61-1288へ

～桜小学校の取り組み紹介～

認知症サポーター養成講座の終了後、介護施設での福祉体験を行います。その前に社会福祉協議会の協力をいただき、白杖などを活用した、福祉疑似体験(キャップハンディ体験)を行い、福祉体験に向けての準備をすすめています。

認知症家族会「なごみの会」

介護の悩みを一人で抱え込まずに語り合い、一緒に考えましょう。

お気軽にご連絡ください!



- 定例会** 毎月第3金曜日
- 時間** 午後1時30分から午後3時30分まで
- 場所** 総合保健福祉センター(ウエルパークかくだ)
2階 高齢者健康づくり推進室
- 連絡先** 代表 太田 秀雄
電話：63-1098
携帯電話：090-9533-1904

仙南圏域若年性認知症の人と家族の交流カフェ

このカフェは若年性認知症のご本人やその家族が楽しく出会い、くつろげる場です。同じ立場の者同士で、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのより良い暮らしを考えてみませんか?

- 日時** 11月14日(水) 14:00～15:00
※時間内であれば出入りは自由となっています。
- 場所** 総合保健福祉センター(ウエルパークかくだ)
- 参加費** 100円(お茶代)
- 申し込み** 事前にお電話下さい
- 問い合わせ** 角田市地域包括支援センター ☎ 61-1288

「ミニ情報」～「認知症の本人からあなたに贈る 希望の言葉」 佐藤雅彦さん作～

佐藤雅彦さんは、50歳でアルツハイマー型認知症を発症しましたが、「認知症になった私が伝えたいこと」の執筆活動や一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループの副代表を務めるなど認知症の方の理解のためにご活躍されています。

今回、佐藤雅彦さんが作成した希望の言葉の一部をご紹介します。

1. 認知症になると、すぐに、何もかもできなくなるわけではない
2. 認知症になっても、希望をもって生きることができる
3. 認知症になっても、適切な支援があれば、人生を楽しむことができる
4. できなくなることも増えるが、残された機能もたくさんある
5. 失った機能を嘆くのではなく、残された機能に感謝して生きる
6. この試練は、永遠に続くわけではない
7. 認知症になっても、不便であるが不幸ではない
8. だれもなりたくて、認知症になったわけではないので、不条理だが受け入れる
9. 仕事も、職場の理解を得て、できるだけ続ける
- 10.好きなことをして生活に張りを持って、生活する
11. 不便なことをだしあい、みんなで解決策を話し合い、自分の生活をよりよくしませんか
12. 認知症になっても、しっかり、準備をすれば、外出も楽しむことができる
13. 役割をさがし、自分の役割が見つからないときは、人に探してもらい充実した人生をおくる
14. 認知症になっても、愛することもでき、元気に暮らすことができる



<https://www.sato-masahiko.com/message/> より一部抜粋

「世界アルツハイマーデー」普及啓発チラシ配布ボランティア募集

WHO（世界保健機構）は、9月21日を世界アルツハイマーデーとして制定し、この日を中心に啓発活動を行っており、「認知症の人と家族の会宮城県支部」においても角田市の認知症家族会（なごみの会）とともに下記により実施します。普及啓発のチラシを配布しますので、ボランティアとしてご協力いただける方はぜひお申し込みください。

日時 9月15日(土) 午前11時から正午まで **場所** ヨークベニマル角田店
問い合わせ・申し込み 角田市地域包括支援センター ☎61-1288

< 編集後記 >

今回の「みんなで笑顔」には、認知症本人の言葉を掲載しました。認知症のいろいろな症状を理解し、本人や介護する方が明るく充実した生活が送れるよう支援していければと思います。

認知症は早期の対応が大切です。少しでも気になることがあればご相談ください。この情報誌がそのお役に立てば幸いです。(井)

ご自由にご意見をお寄せください。介護体験・ご本人からのメッセージもお待ちしております。

(事務局) 角田市地域包括支援センター(ウエルパークかくだ内)

〒981-1505 角田市角田字柳町35-1

☎61-1288

FAX: 63-3975

E-mail: tiikihokatsu@city.kakuda.lg.jp